

活動の記録

日本バイオフィルム学会

(第 28 回までは Bacterial Adherence & Biofilm)

日本バイオフィルム学会		会 長	事 務 局
第 1 回	1987 年	小酒井 望	日本大学医学部第三外科細菌研究室
第 2 回	1988 年	〃	〃
第 3 回	1989 年	中山 一誠	〃
第 4 回	1990 年	横田 健	〃
第 5 回	1991 年	〃	〃
第 6 回	1992 年	〃	〃
第 7 回	1993 年	〃	〃
第 8 回	1994 年	〃	〃
第 9 回	1995 年	〃	〃
第 10 回	1996 年	〃	〃
第 11 回	1997 年	中山 一誠	〃
第 12 回	1998 年	〃	〃
第 13 回	1999 年	〃	〃
第 14 回	2000 年	〃	〃
第 15 回	2001 年	〃	〃
第 16 回	2002 年	〃	バイオサイエンス研究所
第 17 回	2003 年	〃	〃
第 18 回	2004 年	〃	〃
第 19 回	2005 年	〃	〃
第 20 回	2006 年	〃	〃
第 21 回	2007 年	神谷 茂	杏林大学医学部感染症学
第 22 回	2008 年	〃	〃
第 23 回	2009 年	〃	〃
第 24 回	2010 年	〃	〃
第 25 回	2011 年	〃	〃
第 26 回	2012 年	〃	〃
第 27 回	2013 年	〃	〃
第 28 回	2014 年	〃	〃
第 29 回	2015 年	〃	〃
第 30 回	2016 年	〃	〃
第 31 回	2017 年	〃	〃
第 32 回	2018 年	〃	杏林大学保健学部長
第 33 回	2019 年	〃	〃
第 34 回	2020 年	野村 暢彦	筑波大学生命環境系 野村暢彦研究室
第 35 回	2021 年	〃	〃
第 36 回	2022 年	〃	〃
第 37 回	2023 年	〃	〃

日本バイオフィルム学会		会 長	事 務 局
第 38 回	2024 年	野村 暢彦	筑波大学生命環境系 野村暢彦研究室

日本バイオフィルム学会 学術集会

(第 28 回までは Bacterial Adherence & Biofilm)

日本バイオフィルム学会		学術集会会長	学術集會事務局
第 1 回	7 月 4 日(土)	小酒井 望	日本大学医学部第三外科細菌研究室
第 2 回	7 月 2 日(土)	〃	〃
第 3 回	7 月 1 日(土)	中山 一誠	〃
第 4 回	7 月 7 日(土)	横田 健	〃
第 5 回	7 月 13 日(土)	〃	〃
第 6 回	7 月 4 日(土)	小林 宏行	杏林大学医学部第一内科学教室
第 7 回	7 月 17 日(土)	中山 一誠	日本大学医学部第三外科細菌研究室
第 8 回	7 月 2 日(土)	島田 馨	東京専売病院
第 9 回	7 月 1 日(土)	五島瑛智子	東邦大学医療短期大学
第 10 回	7 月 6 日(土)	横田 健	順天堂大学医学部附属浦安病院
第 11 回	7 月 12 日(土)	熊澤 淨一	九州大学医学部泌尿器科学教室
第 12 回	7 月 11 日(土)	荒田 次郎	岡山大学医学部皮膚科学教室
第 13 回	7 月 17 日(土)	大井 好忠 (後藤俊弘代行)	鹿児島大学医学部泌尿器科学教室
第 14 回	7 月 8 日(土)	益田 昭吾	東京慈恵会医科大学微生物学第二
第 15 回	7 月 14 日(土)	山本 達男	新潟大学医学部細菌学教室
第 16 回	7 月 13 日(土)	那須 勝	大分医科大学内科学第二講座
第 17 回	7 月 5 日(土)	公文 裕巳	岡山大学大学院医歯学総合研究科泌尿器病態学
第 18 回	7 月 3 日(土)	岡田 淳	NTT 東日本関東病院臨床検査部
第 19 回	7 月 1 日(金)~2 日(土)	松本 哲朗	産業医科大学医学部泌尿器科
第 20 回	7 月 7 日(金)~8 日(土)	中山 一誠	帝京平成大学薬学部
第 21 回	7 月 7 日(土)	辻 明良	東邦大学医学部看護学科感染制御学
第 22 回	7 月 4 日(金)~5 日(土)	三宅洋一郎	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
第 23 回	7 月 11 日(土)	金子 明寛	東海大学医学部口腔外科
第 24 回	7 月 9 日(金)	神谷 茂	杏林大学医学部感染症学
第 25 回	7 月 8 日(金)	水之江義充	東京慈恵会医科大学細菌学講座
第 26 回	7 月 13 日(金)	天野富美夫	大阪薬科大学生体防御学研究室
第 27 回	7 月 12 日(金)	神谷 茂	杏林大学医学部感染症学
第 28 回	7 月 9 日(水)	松本 哲哉	東京医科大学微生物学講座
第 29 回	7 月 10 日(金)~11 日(土)	吉村 文信	愛知学院大学歯学部微生物学講座
第 30 回	7 月 2 日(土)	小林 寅詰	東邦大学看護学部感染制御学講座
第 31 回	7 月 7 日(金)~8 日(土)	野村 暢彦	筑波大学生命環境系
第 32 回	7 月 27 日(金)~28 日(土)	池田 幸	宇都宮大学大学院工学研究科
第 33 回	7 月 5 日(金)~6 日(土)	渡邊 浩	久留米大学医学部感染制御学講座
第 34 回	8 月 28 日(金)~29 日(土)	松本 壮吉	新潟大学医学部医学科細菌学講座

第 35 回	8 月 27 日(金)～28 日(土)	常田 聡	早稲田大学先進理工学部生命医科学科
第 36 回	9 月 24 日(土)～25 日(日)	館田 一博	東邦大学医学部微生物・感染症学講座
第 37 回	8 月 26 日(土)～27 日(日)	泉福 英信	日本大学松戸歯学部感染免疫学講座
第 38 回	7 月 26 日(金)～27 日(土)	金子 幸弘	大阪公立大学大学院医学研究科 細菌学

日本バイオフィルム学会 特別講演・招請講演

(第 28 回までは Bacterial Adherence & Biofilm)

特別講演・招請講演		講演タイトル
第 1 回	John W. Costerton (Calgary University)	The Role of Glycocalyx
第 2 回	今栄 康雄(名古屋大学)	細菌の感覚と機能
第 3 回	Itzhak Ofek, Edwin H. Beachey (Tennessee University)	Bacterial Adhesion : Ligand Receptor Interactions Mediating The Adhesion of Bacteria to Epithelial Cells
第 4 回	天児 和暢(九州大学)	細菌線毛の構造とその遺伝子支配
第 5 回	Ten Feizi (Glycoconjugates Section, MRC)	Novel Approach to Identifying Oligosaccharide Structures that Mediate Bacterial Adherence
第 6 回	John W. Costerton(Calgary University)	The Nature and Control of Bacterial Adherence to Medical device
	H øiby. N. (Copenhagen University)	Immunological Role of Glycocalyx and Bacterial Biofilms
第 7 回	Asa Ljungh (Lund University) 塚越 茂(癌研究所)	Connective Tissue Protein and Glycosaminoglycan Binding Expressed by <i>Staphylococcus aureus</i> and Coagulase negative Staphylococci 癌転移研究 –最近の展開–
第 8 回	水落 次男(東海大学)	糖蛋白質糖鎖と細胞認識
第 9 回	松本 慶蔵(長崎大学)	新しい抗ウイルス剤 –Neuraminidase 被包薬 (inhibitor)–GG167
第 10 回	熊本 悦男(札幌医科大学)	尿路性器感染症治療学からみた細菌付着と宿主 反応
第 11 回	Hugh Connell(Lund University)	Adherence and the Pathogenesis of Urinary Tract Infection
第 12 回	公文 裕巳(岡山大学)	バイオフィルム感染症は制圧できるか？
第 13 回	Catharina Svanborg(Lund University)	Innate Defences and Resistance to Gram negative mucosal infection
第 14 回	笹川 千尋(東京大学医科学研究所)	赤痢菌と宿主細胞の相互作用
第 15 回	小林 宏行(杏林大学)	微生物の長期付着と生体反応

	Manred Kist (University of Freiburg)	<i>Helicobacter pylori</i> – a survival specialist in a hostile environment
第 16 回	小林 宏行(杏林大学) 館田 一博(東邦大学)	国際会議 Medical Biofilms 2002 報告書 —Biofilm 研究の最前線— Quorum sensing 機構 —バイオフィルム形成と生体反応を制御するシステム
第 17 回	Philip S. Stewart (Montana State University)	Frontiers of Biofilm Research
第 18 回	光岡 知足(東京大学) 中山 一誠(帝京平成大学)	腸内フローラとプロバイオティクス Biofilm 研究の動向(Biofilm 2003 を中心に)
第 19 回	服部 正平(北里大学) 公文 裕巳(岡山大学)	病原微生物ゲル研究の現状 尿路とバイオフィルム
第 20 回	小林 宏行(杏林大学) 中山 一誠(帝京平成大学)	細菌長期定着による感染症の変貌 Bacterial Adherence の軌跡 —過去、現在、未来
第 21 回	神谷 茂(杏林大学) 高鳥 浩介(東京農業大学)	バイオフィルム感染症の発症基盤 —急性感染・慢性感染の振り分けシステム— 真菌とバイオフィルム —古墳壁画のバイオフィルムから学ぶこと—
第 22 回	該当なし	
第 23 回	Pradeep K. Singh (University of Washington School of Medicine) 池田清彦(早稲田大学)	Lessons from Lactoferrin, New Anti-infective Strategies that Target Bacterial Metabolism 共生する生物たち —微生物から生態系まで—
第 24 回	小林 宏行(杏林大学) 池田 幸(宇都宮大学) Jean-Marc Ghigo Fitnat Yildiz Reuben Ramphal Kazuhiro Tateda Niels Høiby	Biofilm – 研究の軌跡と展望 – 魚病細菌と植物病原細菌の Quorum Sensing と バイオフィルム形成能 Long-distance Control of Antibiotic Resistance by a Biogenic Volatile Compound Produced by Bacterial Communities Molecular Basis of Biofilm Formation in <i>Vibrio cholerae</i> The Role of the Type II Secretion System in Death Due to <i>Pseudomonas aeruginosa</i> Lung Infection. New Insight in <i>Pseudomonas</i> Quorum-sensing System for Interspecies Communication and Novel Therapeutic Strategy <i>Pseudomonas aeruginosa</i> Lung Infection and Biofilm – Experience from Cystic Fibrosis Patients

第 25 回	堀 克敏(名古屋大学) Bernt Eric Uhlén(Umeå University) Sun Nyunt Wai(Umeå University) 柴 孝也(東京慈恵会医科大学) 王 宝禮(大阪歯科大学) 公文 裕巳(岡山大学)	バクテリオナノファイバーによる細菌の細胞接着 Regulation of adherence by pathogenic <i>Escherichia coli</i> Modulators of <i>vibrio cholerae</i> predator interaction and virulence Biofilm と臨床 –Biofilm が臨床現場に及ぼす影 響について– 歯周病治療におけるアジスロマイシン投与の考え方 ～歯周病抗菌療法の診療ガイドランをふまえて～ 岡山大学泌尿器科における Biofilm 研究とその展開
第 26 回	山口 明人(大阪大学)	細菌のバイオフィルム形成と薬剤耐性機構
第 27 回	笹川 千尋(一般財団法人 日本生物科学 研究所・千葉大学真菌医学研究センター) 木暮 一啓(東京大学 大気海洋研究所)	赤痢菌の腸管感染における自然免疫の克服戦略 海洋微生物の生残戦略
第 28 回	舘田 一博(東邦大学) 若林 裕之(森永乳業株式会社)	臨床的視点で考えるバイオフィルム研究の方向性 ラクトフェリンによる感染症の予防効果
第 29 回	Richard Peters Darvear (University of Washington) 竹田 美文(野口英世記念会)	Periodontal Health is just as complicated as Disease Viable but non-culturable (VBNC) <i>vibrio cholerae</i>
第 30 回	中山 一誠((元)日本大学) 林 哲也(九州大学) 岡本 好正(花王株式)	<i>Biofilm</i> 感染症 – an Overview – ゲノムからみる病原細菌の菌種内多様性： 大腸菌を中心として バイオフィルムに負けない高度衛生管理 ～実現場で効く薬剤～
第 31 回	福崎 智司(三重大学) 福田 真嗣(慶応義塾大学、JST さきがけ、 神奈川県立産業技術総合研究所、株式会 社メタジェン) 稲葉 英樹(住友重機械エンバイロメイト株 式会社)	次亜塩素酸の界面挙動を利用した各種施設環境 の微生物制御 腸内微生物生態系の制御による新たな疾患予 防・治療戦略 排水処理における微生物群集制御
第 32 回	常田 聡(早稲田大学 先進理工学部)	バイオフィルムのシステムの理解と制御
第 33 回	太田 啓介(久留米大学) E. Peter Greenberg (University of Washington)	細胞が織りなすメソスケール空間の3次元直接観察 Quorum sensing control of sociality in bacteria
第 34 回	藤井 雅寛(新潟大学大学院医歯学総合研 究科 ウイルス学)	ウイルス研究は面白い; ウイルス性神経疾患に 基づいたパーキンソン病の発症機構の解析

	<p>藤江 昭彦(日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬戦略部)</p> <p>竹田 潔(大阪大学大学院医学研究科 免疫制御学)</p> <p>本間 道夫(名古屋大学大学院理学研究科 超分子機能学)</p>	<p>感染症領域の創薬研究を活性化するには-製薬企業の創薬研究経験に基づく創薬ブースターの活用について</p> <p>腸内細菌叢と宿主の相互作用機構</p> <p>日本で発見されたナトリウムイオン流で回転するべん毛モーター蛋白質</p>
第 35 回	<p>岩野 英知(酪農学園大学獣医学類獣医生化学ユニット)</p> <p>立石 善隆(新潟大学 医学部 細菌学)</p> <p>仲上 豪二郎(東京大学大学院医学系研究科老年看護学/創傷看護学分野 医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター)</p> <p>後藤 憲志、渡邊 浩(久留米大学 感染制御学講)</p> <p>掛屋 弘(大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学)</p>	<p>ファージセラピーの開発の現状と実用化への課題</p> <p>結核・非結核性抗酸菌におけるバイオフィルムバイオフィルムをターゲットにした次世代の難治性創傷管理戦略</p> <p>臨床で問題となるバイオフィルム関連感染症</p> <p>Unmet medical needs in biofilm diseases ～臨床の現場から～</p>
第 36 回	<p>Nobuhiko Nomura (University of Tsukuba, Japan)</p> <p>Shinya Sugimoto (The Jikei University School of Medicine, Japan)</p> <p>青柳 哲史(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)</p> <p>尾花 望(筑波大学 医学医療系 トランスポーダー医学研究センター)</p> <p>落谷 孝広(東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門)</p> <p>山口 哲央(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)</p> <p>常田 聡(早稲田大学先進理工学部 生命医科学科)</p> <p>岩野 英知(酪農学園大学 獣医学類 獣医生化学ユニット)</p> <p>青木 一晃(bitBiome 株式会社)</p>	<p>Biofilms and membrane vesicles</p> <p>Development of a new optical clearing method to visualize biofilms</p> <p>Microparticles の感染症病態における役割: 内包される IL-36 サイトカインを中心に細菌が能動的に産生する細胞外膜小胞</p> <p>がんや感染症領域におけるエクソソーム研究の新展開</p> <p>臨床で問題となるバイオフィルム—黄色ブドウ球菌感染症—</p> <p>バイオフィルムの各形成段階における制御技術</p> <p>細菌感染症におけるバクテリオファージとエンドライシンの可能性と課題</p> <p>ファージ由来タンパク質”エンドライシン”の細菌感染症治療薬への応用</p>

<p>第 37 回</p>	<p>Hyun Michel Koo (Department of Orthodontics, Divisions of Pediatric Dentistry & Community Oral Health, School of Dental Medicine, University of Pennsylvania)</p> <p>寺田 昭彦(東京農工大学大学院工学研究院 応用化学部門)</p> <p>平川 秀忠(群馬大学医学部)</p> <p>仲野 道代(岡山大学歯学部)</p> <p>伊藤 龍朗(日本大学松戸歯学部)</p>	<p>New discoveries in biofilm biogeography and interkingdom interactions?</p> <p>Leveraging redox stratification in biofilm for energy-saving wastewater treatment and greenhouse gas mitigation</p> <p>Microcolony formation and pathogenicity of uropathogenic <i>Escherichia coli</i> (UPEC) in host cells</p> <p>Role of membrane transporters in oral biofilms</p> <p>Cariogenic cross-kingdom biofilm: <i>Candida</i> association with childhood caries and current nanotherapeutic approaches</p>
<p>第 38 回</p>	<p>福田 淳二(横浜国立大学大学院工学研究院、横浜国立大学先端科学高等研究院、KISTEC、株)TrichoSeeds)</p> <p>永沢 亮(愛知医科大学 医学部 感染・免疫学講座)</p> <p>外園 真規(新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻 口腔健康科学講座 う蝕学分野)</p> <p>瀧澤 智美(日本大学松戸歯学部感染免疫学講座)伊藤 龍朗(日本大学松戸歯学部)</p> <p>Andrew S. Utada (Institute of Life and Environmental Sciences & MiCS University of Tsukuba)</p>	<p>微細加工を用いた細胞培養技術</p> <p>バイオフィルムにおける遺伝子発現の不均一性</p> <p><i>In situ</i> デンタルバイオフィルムモデルを用いたヒトデンタルバイオフィルムの多面的解析</p> <p>経鼻ワクチンによる口腔バイオフィルム形成阻害効果</p> <p>Oil-eating bacteria lay down to stay fit.</p>